

第6回 FMくらら857放送番組審議会議事録

1. 開催日時 平成28年9月27日(火) 11時00分～11時57分

2. 開催場所 ケーブルテレビ株式会社

3. 委員出席

審議委員総数 8名

出席委員数 6名

■出席委員(敬称略)

早乙女 洋 会長(栃木市総合政策部長)

岸 英 司 副会長(栃木商工会議所事務局代行 総務課長)

松 本 静 男 委員(栃木市教育委員会教育部長)

茅 原 剛 委員(栃木市産業振興部長 栃木市観光協会専務理事)

増 山 政 廣 委員(栃木市消防本部消防長)

大 橋 良 久 委員(下野農業協同組合企画総務部長)

■放送事業者側出席者

高 田 光 浩 (ケーブルテレビ株式会社 代表取締役)

村 上 正 子 (ケーブルテレビ株式会社 取締役)

大 川 進 (コンテンツ部課長)

石 田 美也子 (コンテンツ部FMグループ係長)

遠 藤 雅 史 (コンテンツ部FMグループ主任)

4. 報告事項

事業運営状況に関する報告に続き、対象番組等について、各委員より感想・意見・疑問点等を挙げていただき、他の委員と意見を交わす形式にて議事を進行した。必要に応じて放送事業者側出席者が説明・回答した。

5. 議事

①審議番組「ミドコロコエド」(平成28年8月6日放送分)

(事務局) 夏休み企画として、山本有三記念子ども朗読フェスティバル入賞者が生出演。朗読を披露していただいた。

(委員) 子どもたちが放送に出るのは良いこと。同様の企画を続けて欲しい。

(委員) どんな点が評価され入賞したのか解説があると良かった。FMくらら857でも朗読番組を実施してはどうか。

- (委員) 親御様が聴くという点でもよい。土日昼間の放送が良い。
- (委員) 発表の場として良かった。高校生の作文発表などもできると良い。

②審議番組「気象防災に関する緊急放送(台風9号)」(平成28年8月22日放送分)

(事務局) 台風9号の接近で栃木市に土砂災害警戒情報発表。開局後初めて放送局側が強制的に防災ラジオを起動させて情報伝達を行った。地域の方や行政担当者が電話中継に協力。各地の状況を伝えた。

- (委員) 多くの人に定着し、いかに聴いてもらえるかが重要。
- (委員) 実際の放送を聴いていた。聞いている方は非常に参考になったのではないかと思う。
- (委員) 地域名や町名の伝達に若干不安な部分があった。
- (委員) 緊急時は情報が一番必要。避難所の様子がよくわかった。このような番組は重要である。

③審議番組「YORAナイト!くらはら857」(平成28年9月9日放送分)

(事務局) 関東・東北豪雨災害から1年。市役所で開催された「栃木市防災対策推進報告会」における市長メッセージを、報告会場からの生中継に加え、夕方には録音でお届けした。(録音放送は開局後初)

- (委員) 生放送で聴けないリスナーもいるので、録音で後から聴くことができて良かった。
- (委員) 生中継はタイミングが少しあわず、市長がこれからメッセージを伝えるということがわかりづらかったように思う。
- (委員) 豪雨災害から1年の節目の企画としてタイムリーであった。

④審議番組「そろそろひるめし」(平成28年9月19日放送分)

(事務局) 栃木市で初開催された「栃木市高校生文化祭」を、栃木翔南高校放送部が番組出演や中継レポートを通して紹介した。

- (委員) 同年代の方が聴く良い機会になる。
- (委員) 放送部の生徒たちが本格的なスタジオで話せることを喜んでいた。各高校の放送部等と連携できる場があると良い。

6. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

FMくらはら857ホームページに掲載(平成28年10月掲載)